

図書館だより～平成27年5月号～

担当：2－5 図書委員

皆さんこんにちは。今回の図書館だよりでは、先生方のオススメの一冊を紹介합니다。図書室にありますので、ぜひ足を運んでみてください♪

『願いを9割実現するマーフィーの法則』植西聰（中経の文庫）

「よいこと」を思えば「よいこと」が起こる。「なりたい」だけでなく「なるためにはどうするか」を真剣に考えることによって願望が達成できる。総合学科での学びについて、示唆に富んだものです。

「マーフィーの法則」関連の本は数種類出ているようです、気に入ったものを読んでみてください。



『ソロモンの偽証』宮部みゆき（新潮社）

クリスマスの朝、雪の校庭に転落した男子生徒。自殺と断定されたが、実は殺人であるとの告発状が学校に届き、隠された真実を暴くため、生徒会の手による学校内裁判が開廷。とにかく生徒たちの真実に向き合おうとする姿がすばらしい。続編が特に好きです！『負の方程』



『図書館戦争』有川浩（角川文庫）

メディアの自由を巡る人々の戦いを通して熱血少女・笠原郁のまっすぐな成長を描く。将来図書館に関する仕事に就きたい人、図書館やメディアに興味がある人は必読の本。



『零の発見—数学の生い立ち』吉田洋一（岩波新書）

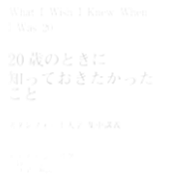
数学の本というと毛嫌いする人もいますが紹介したい。インドにおける零の発見は人類文化史上に巨大な一歩をのしました。数を書き表すための工夫など数学と計算法の発達が易しく書かれています。



『20歳の時に知っておきたかったこと

スタンフォード大学集中講義』ティナ・シーリグ（CCCメディアハウス）

「封筒にある五百円を使って、次の授業までにそれ以上の価値を生み出してきてください。」もし、こんな宿題が学校で出されたら。この本では、身の回りの世界を新鮮な目で見つめ常識にとらわれない考えの大切さを述べています。



『生存者ゼロ』安生正（宝島社）

最近読んだ本の中で最も面白く、500ページ弱のボリュームですが、2日間で一気に読んでしまいました。私が本を選ぶときのポイントは、どれだけ非日常を味わえるかという点です。これはまさに超一流のパニックもの！！頭を空っぽにして楽しんでほしい本です。



『日本サッカーを強くする25の視点 フット×ブレインの思考法』

テレビ東京 FOOT×BRAINプロジェクト／編（文藝春秋）

サッカー以外の視点から日本のサッカーやスポーツを強くするための手段や方法がわかり、スポーツに対する視野が広がる一冊。



『手紙』東野圭吾（文春文庫）

主人公の青年は兄が殺人犯になったためにいわれのなき差別と偏見に晒されます。恋愛や就職もままならず、苦しみますが、中でも手を差し伸べてくれる人に出会います。逆境の中で己の力を信じ、人の善意に導かれる主人公の生き方に共感してください。



☆その他にご紹介いただいた本☆

『夢をかなえるゾウ』（水野俊也）齋藤玲子先生 『人生の目的』（五木寛之）加藤和雄先生
『潮騒』（三島由紀夫）植野榮基先生 『怒り』（吉田修一）齊藤亜希子先生
『横道世之介』（吉田修一）西澤美奈実先生 『アラスカ物語』（新田次郎）橋本菜穂実先生
『希望の牧場』（森絵都・吉田尚令）小松原圭一先生 『日本百低山』（小林泰彦）大貫保先生
『プラトンは赤いガウンが好き』（小峰元）小泉治先生

紹介文は図書館にてご覧ください！